

9月から平成28年2月実施の主な行事と今年度特別に開催される行事等について

【9月】

・ライトアッププロムナード・なら2015

《主催：ライトアッププロムナード・なら実行委員会》

- 日 時：7月18日（土）～9月27日（日）午前7時～午後10時
場 所：東大寺・仏教美術資料研究センター・春日大社一之鳥居・浮見堂
興福寺五重塔・猿沢池・平城宮跡朱雀門・第一次大極殿・薬師寺
内 容：世界遺産をはじめ歴史的建造物をライトアップし、昼間とは違った表情を
演出し、あわせてライトアップコンサートなどのイベントも開催されます。

・開館120年記念特別展「白鳳—花ひらく仏教美術—」

《主催：奈良国立博物館》

- 日 時：7月18日（土）～9月23日（水・祝）
午前9時30分～午後6時 【休＝月曜日、※9/21（月・祝）は開館】
（金曜日と8月5日（水）～15日（土）は午後7時まで）
場 所：奈良国立博物館
内 容：奈良国立博物館の開館120年を記念して、長年構想を温めてきた白鳳美術
の大規模な展覧会が開催されています。
出陳数は約150件（うち国宝約15件、重要文化財約70件）
主な出陳物は、国宝 聖観世音菩薩立像（薬師寺）国宝 仏頭（興福寺）など。
料 金：一般1,500円、高校・大学生1,000円、小・中学生500円

From Nara to the World

・「NW展 奈良から世界へ」 《主催：奈良写真フェスタ実行委員会》

- 日 時：9月5日（土）～10月4日（日）【休＝月曜日と祝日の翌日】
午前9時30分～午後5時
場 所：入江泰吉記念奈良市写真美術館
内 容：アメリカの女性写真家テリ・ワイフェンバック氏と奈良出身の写真家NAO
KI氏による奈良をテーマにした写真展です。
料 金：一般500円、高校・大学生200円、小・中学生100円（高校～小学
は土曜日無料）

・第5回なら奈良まつり 《主催：奈良商工会議所青年部》

日 時：9月5日（土）午前11時～午後9時
9月6日（日）午前9時～午後9時

場 所：平城宮跡朱雀門前広場

内 容：大盆踊り大会や昔懐かしい縁日体験コーナーなど、家族ぐるみで楽しめるイベントです。

・中金堂再建工事現場特別見学 《主催：興福寺・JR西日本》

日 時：9月5日（土）・19日（土）26日（土）午前2時～午後3時

場 所：興福寺

内 容：平成30年の落慶を目指し再建が進められている中金堂は、興福寺の中心となるお堂で、江戸時代に焼失して以来およそ300年ぶりに再建が進められています。その貴重な再建工事現場の初層が見学できます。

料 金：1,000円（北円堂拝観券付き）

・采女祭（うねめまつり）《主催：采女祭保存会》

日 時：9月26日（土）宵宮祭：午後5時～午後5時30分

27日（日）花扇奉納行列：午後5時から

花扇奉納神事：午後6時から

管絃船の儀：午後7時から

場 所：宵宮祭、花扇奉納神事／采女神社

花扇奉納行列／JR奈良駅から猿沢池

管絃船の儀／猿沢池

内 容：奈良時代に天皇の寵愛が衰えたことを悲観し、猿沢池に入水した采女（後宮で天皇の給仕をする女官の職名）の霊を慰めるために始まったといわれる中秋の名月に執り行われる祭です。

※関連事業 管絃船乗船体験

日 時：9月24日（木）・25日（金）・26日（土）

午前10時から午後4時（26日は午後3時まで）

内 容：祭に使用される管絃船に特別に乗船いただけます。

料 金：大人1,200円、小人600円（5歳～小学生）（采女祭絵馬付き）

【10月】

・鹿の角きり 《主催：奈良の鹿愛護会》

日 時：10月10日（土）・11日（日）・12日（月・祝）
正午～午後3時

場 所：鹿苑

内 容：江戸初期の寛文年間（1671年）に住民の危険防止と樹木の保護のために
始められた奈良ならではの伝統行事。

料 金：大人1,000円、小人500円（小学生）

・春日大社第60次式年造替奉祝行事 檜皮・お砂奉納千人行列

《主催：春日大社・春日大社第60次式年造替奉祝実行委員会》

日 時：10月17日（土）・18日（日）午前10時から

場 所：登大路園地から春日大社

内 容：第六十次式年造替を記念し、地元および全国の方々が御造替の奉祝に直接
参加していただく行事として、社殿などの修繕に使用される屋根材の檜皮、
また御本殿完成後に御本殿内院や後殿に敷き詰められるお砂を運び、千人
の行列によって奉納する行事が開催されます。

料 金：2,500円（記念品代を含む）

・第45回平城宮跡菊花大会 《主催 奈良市・奈良県菊花連盟》

日 時：10月21日（水）～11月20日（金）
月～金曜日の午前8時30分～午後5時

場 所：奈良市庁舎玄関前及び玄関ホール

内 容：菊の栽培は、奈良時代に遣唐使らにより奈良にもたらされたものだと
言われています。平城宮跡菊花大会は、平城京の左京職跡にあたる奈良市庁舎
で実施しているもので、本年で45回目を迎え、古都奈良を彩る秋の代表
行事となっています。（市庁舎での開催は、昭和52年から行っています。）

・第67回正倉院展 《主催：奈良国立博物館》

日 時：10月24日（土）～11月9日（月）17日間～期間中無休～
午前9時～午後6時（金・土・日・祝日は午後7時まで）

場 所：奈良国立博物館

内 容：本年の出陳は63件（北倉9件・中倉22件・南倉29件・聖語蔵（しよ
うごぞう）3件）、うち初出陳は12件。

主な出陳物は、東大寺伝来の四弦の琵琶「紫檀木面槽琵琶（したんもくが
そうのびわ）」や初出展の「伎楽面（ぎがくめん）・力士」などです。
今回は、平成21年～24年に宮内庁正倉院事務所で行われた特別調査の
成果を示す宝物が出陳されるのも話題の一つです。

料 金：一般1, 100円 高校・大学生700円 小・中学生400円

・秋のならまちナイトカルチャー 《主催：奈良市》

日 時：10月24日（土）～11月6日（金）（10/26・11/2を除く。）

午後7時～午後8時

場 所：奈良市ならまちセンター（10/25・10/27・10/28・10/30・11/1・11/4～11/6）

奈良町にぎわいの家（10/24・10/29・10/31）

なら工藝館（11/3）

内 容：「ならまち」で楽しく夜のひと時をすごしていただく催し物です。

能、狂言、雅楽、落語、上方舞の鑑賞。

今回新たに海外からのお客様専用プログラムも実施。

料 金：500円（ただし狂言鑑賞は1000円）

※海外からのお客様限定プログラム

日 時：10月24日（土）午後5時30分～午後6時30分

町家で邦楽体験／奈良町にぎわいの家

10月30日（金）午後5時30分～午後6時30分

書とすずり体験／ならまちセンター

11月3日（火・祝）午後5時～午後6時

楽彫り工芸体験 / なら工藝館

・平城京天平祭☆秋 《主催：平城京天平祭実行委員会》

日 時：10月31日（土）～11月8日（日）

午前10時～午後4時

場 所：平城宮跡

内 容：花と古代行事をメインに、天平文化にまつわる様々なイベントを開催
します。

【11月】

・大仏鉄道ウォーク 《共催：奈良市・木津川市》

日 時：11月14日（土）午前8時30分～午後3時

コース：JR加茂駅～城山台公園（木津川市）～梅美台公園～松谷川隧道～

（予定）鹿川隧道～黒髪山トンネル跡～大仏鉄道記念公園～JR奈良駅旧駅舎

募集人員：200名（両市より各100名受付）

料 金：200円

・奈良の魅力発見ツアー 《イベント企画：奈良市・柳生観光協会》

ボンネットバスで行く 剣聖の里 紅葉の柳生～いにしへの剣豪たちの息吹に出逢う～

日 時：11月19日（木）・21日（土）

午前9時00分から午後5時00分

行 程：近鉄奈良駅～しいたけ狩り～地元ガイドと散策（天石立神社～一刀石）

～芳徳寺（講話・柳生家の墓散策）～正木坂剣禅道場（座禅と新陰流の体験）～近鉄奈良駅

料 金：6,900円（昼食・拝観料/座禅/柳生新陰流演武体験料金込）

募集人員：各日24名

【12月】

・第880回 春日若宮おん祭 《主催：春日若宮おん祭保存会》

日 時：12月15日（火）～12月18日（金）

場 所：春日大社 他

主な祭事：大宿所祭 12月15日 午後5時から

遷幸の儀・暁祭 // 17日 午前0時から

お渡り式 // 17日 正午から

御旅所祭 // 17日 午後2時30分から

還幸の儀 // 17日 午後11時頃から

【1月】

・若草山焼き 《主催：若草山焼き実行委員会》

日 時：1月23日（土）午後6時15分から（予定）

場 所：若草山 ほか

内 容：若草山で行われる冬の代表的行事です。打ち上げ花火の合図の後、33ヘクタールの草地に一斉に点火されます。

【2月】

・冬のならまちナイトカルチャー 《主催：奈良市》

日 時：2月2日（火）～7日（日）

午後6時～午後7時

場 所：奈良市ならまちセンター

内 容：「ならまち」で楽しく夜のひと時をすごしていただく催し物です。

・珠光茶会 《主催：珠光茶会実行委員会》

日 時：2月8日（月）～14日（日）（予定）

場 所：春日大社・東大寺・大安寺・元興寺・西大寺・薬師寺・唐招提寺
ならまち等（予定）

内 容：茶の湯を通して奥深い奈良の魅力を発信していきたいという想いを込めて、
世界遺産社寺等を会場に開催する。

・しあわせ回廊 なら瑠璃絵 《主催：なら瑠璃絵実行委員会》

日 時：2月8日（月）～14日（日）

午後6時00分～午後9時00分点灯（雨天決行、荒天は随時中止）

場 所：春日大社・興福寺・東大寺・奈良国立博物館・奈良公園一帯（予定）

内 容：奈良を代表する三社寺（春日大社・東大寺・興福寺）を幻想的な「光の回廊」
でつなぎ、美しく神秘的な瑠璃絵の世界を表現する。期間中、三社寺の夜間
特別拝観・講演会や奈良国立博物館の夜間特別開館・講演会、しあわせココ
アの販売等が行われる。

*その他の主な行事等

・西塔初層内陣釈迦四相像特別公開／薬師寺

【6月5日（金）～9月15日（火）午前8時30分～午後5時】

昭和56年（1981）に再建された西塔には、東塔と同じく釈迦八相のうち後半の四相（果相）にあたる諸像が安置されています。もともとは、塑像の形でお祀りされていましたが、享禄の兵火で西塔と供に焼失してしまいました。

平成27年6月に、彫刻家で文化勲章受章者の中村晋也氏によって、新たに奉納された群像形式の釈迦八相像が特別公開されます。

・重陽薬師会／南明寺【9月6日（日）午前10時から】

本尊・薬師如来（平安中期の木造・重要文化財）に無病息災・延命長寿を祈願すると共に、宮中などで行われていた菊の宴「重陽の節句」を取り入れた舞楽法要です。

- ・第10回あるくん奈良まちなかバル／JR・近鉄奈良駅周辺の飲食店
 【9月11日（金）午後6時から・12日（土）正午から】
 スペインの食文化を代表する「バル」を奈良のまちなかに再現し、お店が出す「ワンドリンクと1品」をハシゴして食べ飲み歩くイベントです。
- ・十七夜盆踊り／東大寺二月堂 【9月17日（木）午後6時～午後9時】
 堂内に万灯明を灯して「十七夜（じゅうしちや）」の法要が行われ、「十七夜盆踊り」が開催されます。二月堂の「十七夜盆踊り」は平成5年に復興されたもので、奈良ではこの「十七夜盆踊り」が「盆踊りの踊り納め」であったといわれていました（「関西の踊りじまい」とも）。
- ・志貴親王御忌／白毫寺 【9月21日（月・祝）午前10時30分から】
 白毫寺は志貴親王の高円山の山荘を寺に改めたものと伝えられており、志貴親王への追悼の意を込めた笠金村の万葉歌碑が境内に建てられたのを機に、追慕の法要を行うようになりました。
- ・観月讚仏会／唐招提寺 【9月27日（木）午後6時30分から】
 開祖 鑑真和上を奉安する御影堂の庭園が特別に開放され、和上と共に中秋の名月を愛でる法要が金堂で行われます。御影堂では、裏千家による献茶式が行われます。
- ・大安寺観月会／大安寺 【9月27日（木）午後4時～午後9時】
 劇団高円による「三津山」の語りと上方舞立花流による地唄「三津山」が奉納されます。
- ・例祭の舞楽／氷室神社 【10月1日（木）午後6時30分から】
 氷室神社は我が国三雅楽所の一つ、旧南都楽所の本拠地です。氷室神社伝来の南楽舞 楽11曲が、篝火の中、徳川将軍家寄贈の舞楽殿で奉納されます。
- ・光明真言土砂加持法要／西大寺 【10月3日（土）～5日（月）】
 本尊・釈迦如来の前に、奥の院から採取された土砂を安置し、光明真言の功德で加持するとともに、鎌倉時代から現代までの西大寺と縁のある人々の名を記した過去帳を読み上げる法要を行います。この行事は、3日間昼夜不断で行われます。
- ・転害会／手向山八幡宮・転害門 【10月5日（月）午前10時から】
 転害会は、奈良時代に宇佐八幡宮を勧請し鎮守八幡宮を創建した際に、八幡神が転害門を通過して鎮座された様子を再現した祭礼であり、現在は八幡宮本殿と転害門で法要が行われています。また法要後に明治初年の神仏分離・廃仏毀釈によって東大

寺に移された手向山八幡宮ご神体の国宝・僧形八幡神坐像が特別開扉され、拝観することができます。

- ・翁舞／奈良豆比古神社【10月8日（木）午後8時～午後9時】
例大祭の前日夜に行われる翁舞です。もともと神に捧げる舞として行われたもので、その所作に能・狂言の発達以前の大和猿楽の古い形が残っており、国の無形民俗文化財に指定されています。
- ・天武忌・万燈会／薬師寺【10月8日（木）午後6時30分から】
約1,000基の置き燈籠に灯りをともし、薬師寺の建立を発願した天武天皇を偲ぶ行事。11時30分より金堂前で十二神将供養と大般若経転読法要、14時30分より不動堂前で柴燈大護摩、18時30分より金堂で天武忌法要が厳修されます。
- ・重陽節供祭・献香之儀／春日大社【10月9日（金）午前10時から】
重陽節供祭は菊の節供ともいわれ、康和3年（1101年）に始まると伝えられています。古式の神饒を献じ天下国家の安泰と万物の幸福を祈ります。引き続き香道志野流家元奉仕による献香があります。午後、境内で「聞香の会」が開かれます
- ・題目立／都祁八柱神社【10月12日（日）午後7時から】
室町時代にはすでに行われていた民俗芸能で国の重要無形文化財の指定を受け、ユネスコの世界無形遺産にも登録されています。音楽も所作も伴わず、独特の節回しで語られる素朴なもので、語りものが舞台化した初期の形を伝えている点が珍しく、中世の芸能の姿をうかがわせるものです。「巖島」「大仏供養」「石橋山」と源平合戦を題材にした3曲の台本が遺されています。
- ・秋の大茶盛／西大寺【10月11日（日）午前9時から】
延応元年（1239）西大寺中興開山・興正菩薩叡尊上人が西大寺八幡社頭で行った茶儀に由来したものです。直径30cm以上もある巨大な茶わんに点てた抹茶を隣席のお手伝いをいただきながら参列者がいただく様子が和やかな茶会です。
- ・大仏さま秋の祭り／東大寺【10月15日（木）午前10時から】
天平15年（743）10月15日に「人々の幸せを願って大仏様を造ろう」と「詔（みことりの）」が出されたことにちなむ祭りで、献茶式や鏡池に設えた舞台上で能が奉納されます。
- ・大般若経転読会／興福寺【10月17日（土）午後1時から】
年に一度の南円堂の特別開扉の日です。南円堂本尊不空羂索観音像前で、大般若経六百巻を転読し諸願成就の祈祷が行われます。

- ・ 釈迦念佛会／唐招提寺【10月21日（水）～23日（金）】
鎌倉期に、解脱上人（貞慶）が始めた800年来の伝統行事です。金亀舍利塔におさめられた仏舍利を本尊として、1日に三度の法要が礼堂で営まれます。
- ・ 開山忌（道慈律師忌）／大安寺【11月2日（月）午後2時から】
奈良時代を代表する高僧の一人で、大安寺の天平伽藍を完成させた人として知られる道慈律師の御忌法要です。現在、宗派を問わず全国で行われている大般若転読法要を創始した祖師の鴻恩に感謝し、大般若転読法要が行われます。
- ・ 明治祭・文化の日萬葉雅楽会／春日大社
【11月3日（火）午前10時から明治祭・午後1時から文化の日萬葉雅楽会】
明治天皇の御偉業を称え、国のますますの隆昌を祈念する祭です。祭典後、文化の日に因んで、接することの少ない日本の古典芸能である雅楽に接して、親しみや理解を深めてもらうため舞楽が奉納されます
- ・ 慈恩会／興福寺【11月13日（金）午後7時から】
法相宗の開祖・唐の慈恩大師の忌日に、慈恩大師の画像を掲げ、大師の遺徳をたたえる法要。（薬師寺と隔年で開催される）
- ・ 新嘗祭／春日大社【11月23日（月・祝）午前10時から】
その年の新穀豊穰を感謝する祭です。当日は収穫した新穀を大前に献じ、社前の稲垣には懸税（かけぢから）と呼ばれる株付きの稲穂がかけられます。
- ・ 仏名会／東大寺二月堂【12月14日（月）午前8時30分から】
薬師如来（過去）・釈迦如来（現在）・阿弥陀如来（未来）を主尊とするそれぞれ一千の仏像をえがいた大きな掛け軸を3本、二月堂礼堂正面に掲げて、その前で「過去」「現在」「未来」いずれかの一千仏に、僧侶が礼拝を行います。したがって、3年がかりで、「過去」、「現在」、「未来」の三千仏を巡ることになります。
- ・ お身ぬぐい／唐招提寺【12月15日（火）午前9時から】
読経の後、金堂三尊をはじめとした堂内の諸仏につもった一年間の塵やホコリを払い新しい年を迎える準備をします。
- ・ 冬至祭／正暦寺【12月22日（火）午前10時～午後2時】
護摩堂で護摩祈祷と同時に中風封じの祈祷が行われ、参籠所ではカボチャづくしの精進料理の接待も行われます。

- ・お身ぬぐい／薬師寺【12月29日（火）午後1時から】
 白鳳伽藍金堂において仏さまのほこりを掃うお身拭いが行なわれます。午前中にお正月用のお餅をつき、その時に使用したお湯を使って僧侶が仏さまの御体を浄布で拭き清める行事です。金堂薬師如来像・日光菩薩像・月光菩薩像のお身拭い後は、大講堂、東院堂など各諸堂でも引き続きお身拭いが行なわれます。
- ・大祓式／奈良県護国神社【12月31日（木）午後3時から】
 識らずしらずのうちに身についた罪や一年間の穢れを祓い去り、新年を清らかな心身で迎える神事。
- ・除夜の竹明かり／大安寺【1月1日（金・祝）午前0時から】
 くる年の幸せを祈り、108の竹明かりが境内に灯されます。参拝者に古代赤米粥がふるまわれます。
- ・修正会／唐招提寺
 【1月1日（金・祝）午前0時～午前2時・1月3日（日）午後6時～午後8時】
 修正会は、奈良時代にはじまったといわれ、新年を迎えるにあたって前の年の行いを振り返って、悔い改めるとともに世の中の平安・五穀豊穰を祈願するものです。3日の夜には、その香水と牛玉宝印が参拝者に授与されます。この日は護摩作法の後に鏡餅をお供えした人の名を読み上げ、全国の餅の名を讃嘆するユーモラスな餅談義が行われます。
- ・修正会／東大寺【1月7日（木）午後1時から】
 大仏殿で初夜・後夜の法要をお勤めしている。法要では、初夜導師作法・後夜導師作法が勤められ、後夜の作法の間には「散華」を唱和しながらの行道も行われる。
- ・菩提酛清酒祭／正暦寺【1月中旬】
 「清酒発祥の地」である正暦寺境内で酒母の仕込みが行われます。「奈良県菩提酛による清酒製造研究会」に所属する奈良県の蔵元がその酒母を持ち帰り、各々の蔵元がその酒母を用いて清酒を醸造しています。
- ・大般若転読法要／唐招提寺【1月15日（金）午後】
 600巻の大般若経を読んで、天下泰平・国家安穩・家内安全等を祈願します。
- ・光仁会／大安寺【1月23日（土）午前8時から】
 桓武天皇が文武百官を伴い、先帝光仁天皇の一周忌の齋を大安寺で行なわれた故事にちなむ行事。早朝から法要、癌封じ祈祷、笹酒の授与が行なわれる。太い竹筒に入れた酒を青竹の杯で受ける笹酒は、癌封じに薬効があるといわれている

- ・節分／東大寺二月堂【2月3日（水）午前10時から】
この日二月堂では日中、「還宮（＝古くなったお札やお守り等を火にあげる儀式）」と「節分豆まき」が行われます。
- ・節分会柴燈護摩供／元興寺【2月3日（水）正午から】
導師と行者衆による星祭、厄除け、柴燈大護摩供と火渡り行事を執り行います。火渡りは参拝者も年越し厄除けを願い参加できます。
- ・節分星祭祈願会／西大寺【2月3日（水）午後2時から】
星祭祈願法会と豆まきが行われます。
- ・節分会（開運星祭り）／大安寺【2月3日（水）午後2時から】
開運護摩祈禱が行われた後、福豆まきが行われます。
- ・節分星祭／帯解寺【2月3日（水）午後6時から】
1,200年前から伝わる秘法により、その年にあたる星をおまつりして、無病息災を祈ります。
- ・追儺会／興福寺【2月3日（水）午後6時30分から】
東金堂の本尊前で、無病息災・延命長寿の為の薬師悔過の法要があり、法要終了後、3匹の鬼を毘沙門天が退治する鬼追い式が始まり、続いて東金堂で福豆まきが行われます。
- ・涅槃会／興福寺【2月15日（月）】
お釈迦さまが入滅（にゅうめつ）された2月15日に、その様子を描いた涅槃図を掛け、独特な造花を供えて、供養の法要をします。
- ・菅原天満宮盆梅展／菅原天満宮【2月中旬～3月中旬】
道真公生誕の地とされる奈良菅原の里で行われる「盆梅展」です。
- ・祈年祭おんだ祭／菅原天満宮【2月25日（木）】
神輿蔵の前で、四隅に青竹を立て、しめ縄を張った仮の神田で行われる農耕儀礼です。田主が田を耕す鍬はじめから、田打ち・田肥やりと進み、牛が耕した田に種まきを行います。